

「情報Ⅰ」 単元「コミュニケーションと情報デザイン」、内容「足利観光ピクトグラム」①

学習指導と学習評価の工夫・改善点の概要

【栃木県立足利南高等学校】

多くの史跡や観光施設を有する足利市の観光が抱える課題について、情報を収集、分析し、その情報をもとにピクトグラムを作成することで、情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解し、適切かつ効果的な情報デザインを考える。

評価規準

【知・技】 ①情報を適切に表現するために必要な知識を身に付けている。 ②必要な情報を収集し、整理・分析する方法を身に付けている。 ③効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方を理解している。

【思・判・表】 ①目的や受け手の状況に応じた情報デザインを考えている。 ②情報を情報デザインの方法に基づいて表現し、評価し改善している。

【主】 ①情報デザインの方法に基づいて表現したものを、評価をもとに改善しようとしている。 ②情報デザインを効果的に活用して情報社会に主体的に参画しようとしている。

教科等横断的な視点での取組、主体的・対話的で深い学び、探究的な学び

情報デザインとピクトグラムについて

2時間

足利市の観光が抱える課題についての
情報収集

1時間

ピクトグラムを作ってみよう

2時間

作成したピクトグラムの検証、改良

2時間

完成したピクトグラムの共有(発表)

1時間

＜足利市の観光が抱える課題についての情報収集＞（教科等横断的な視点での取組、探究的な学び）

・学校設定科目「地域研究」を契機に、地域の課題解決のため「足利観光ピクトグラム」を作成する。ピクトグラム作成のために必要な情報を収集し、KJ法を用いて整理・分析する。

＜ピクトグラムの検証・改良＞（主体的・対話的で深い学び）

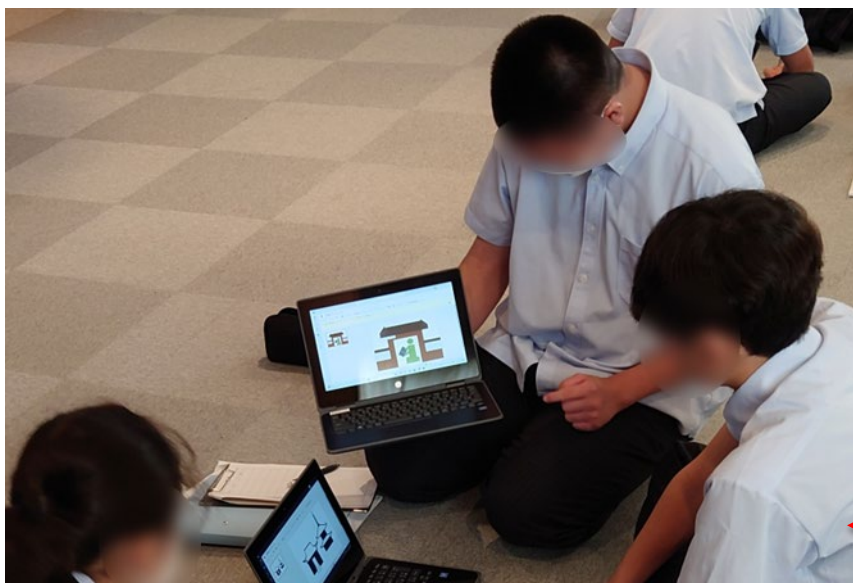
・作成したピクトグラムを検証するため、生徒同士で相互評価し、フィードバックをもとにしてデザインをブラッシュアップする。
・相互評価によって指摘された改善点をもとに、ピクトグラムを修正する。

＜完成したピクトグラムの共有（発表）＞（主体的・対話的で深い学び）

・作成したピクトグラムを発表し、足利観光ピクトグラムとしてふさわしいデザイン（グランプリ）を決定する。
・その際、そのデザインがなぜ素晴らしいのか、フォームを用いてクラス内で調査を行い、「伝わるデザイン」について考える。

「情報Ⅰ」 単元「コミュニケーションと情報デザイン」、内容「足利観光ピクトグラム」②

【図①】



【図②】



『足利観光ピクトグラムを作成しよう』

- ①情報デザインとピクトグラムを理解しよう (1時間)
- ②情報デザインの工夫について考えよう (1時間)
- ③足利市の観光が抱える課題について、情報を収集、整理・分析してみよう (1時間)
 - 地域の課題解決のために「足利観光ピクトグラム」を作成
 - ピクトグラム作成のために必要な情報を収集、KJ法にて整理・分析
- ④ピクトグラムを作ってみよう (2時間)
- ⑤作成したピクトグラムを検証してみよう (1時間)
 - 班別に、自分が作成したピクトグラムを発表・評価し合う【図①】
 - 班以外の生徒との意見交換も行う、生徒が移動しやすいように多目的室のような机のない広い場所で実施【図②】
- ⑥相互評価をもとにして、ピクトグラムを改良してみよう (1時間)
- ⑦完成したピクトグラムを共有しよう (1時間)
 - 作成したピクトグラムの発表を行い、「足利観光ピクトグランプリ」を決定する
 - 選ばれたデザインがなぜ素晴らしいのか、フォームを用いてクラス内で調査を行い、「伝わるデザイン」について考える。

【使用した環境】 タブレットPC (プレゼンテーションソフト)

- ・学校設定科目である「地域研究」を契機としていることから、教科等横断的な視点での取組である。身近な地域の課題について考えることで郷土愛が育まれるよう工夫されている。
- ・必要な情報を収集し、KJ法を用いて整理・分析することで、探究的な学びを実践している。
- ・作成したピクトグラムを班別の生徒同士で評価し、改善意見を出し合うことでフィードバックを行い、デザインをブラッシュアップしている。また、班以外の生徒とも交流しやすいよう、あえて机のある教室ではなく、多目的室のような机のない広い場所で実践している。これにより、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現できている。
- ・改善意見をもとに完成したピクトグラムを全体で発表し、「グランプリ」を決定することで、生徒の合意形成が図られている。また、そのデザインがなぜ素晴らしいかについて、生徒が意見を出しやすいようにフォームを用い、その意見を全体に共有することで、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けることができるような実践となっている。